



文教大学教育研究所
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島 3337
Tel. 048-974-8811

教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2017.6 第46号

- 巻頭言
- 2016 年度「世界の教科書展：ドイツの教科書」および、桶川における「<世界の教科書>巡回展」報告
- 2017 年度「定例研究会」発表一覧、「文教大学の授業」

教育研究所に吹く新しい風

文教大学教育研究所 所長 平 正 人

1991年に設立された教育研究所は、「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献を果たす」ことを目的としている。本学の専任教員に加えて、学外から客員研究員を招聘し、さまざまな共同研究活動に取り組むとともに、教育課題の解決にむけて現職教員を対象とする公開講座を開催している。これらの活動のなかでも、越谷キャンパス学園祭（藍蓼祭）にあわせて開催している「世界の教科書展」は、研究所の特色ある取り組みのひとつとして高い注目を浴びている。2016年までに計23カ国の教科書を集め、研究所の所有する教科書コレクションは、約2200冊を超えている。「世界の教科書展」では各国の教科書を翻訳・展示し、また特集国の概要や教育制度などもパネルで具体的に解説する。世界各国で実際に使用されている教科書を通じて、教育をめぐる環境や当該国の政治社会状況を理解することは、教員を目指す学生にとって有意義であるとともに、これらの企画・運営を本学教員・スタッフの共同事業として組織することによって、教育フロンティアの開拓に大きく貢献するものと考えられる。その意味では、「世界の教科書展」は「教育リーディング・ユニヴァーシティ文教～教育力のトップを目指す～」に求められる大いなる使命ともいえるだろう。

しかしながら、教科書の外部貸し出しをおこなわず、研究所での閲覧のみ可能という現状の対応では、研究所の膨大な教科書コレクションが宝のもち腐れの状況にあると言わざるを得ない。海外の教科書を収集・保管する学術機関が少ないばかりか、それらの購入も容易ではないため、コレクションの希少性は明らかであり、ここ数年では新聞社・テレビ局をはじめとする外部からの問い合わせが増えている。2016年12月10日（土）から17日（土）にかけて、丸善雄松堂株式会社教育・環境ソリューション事業部との共催事業のもと、桶川市駅前公共施設（OKEGAWA hon プラス・イベントスペース）において、研究所の教科書コレクションを広くアピールする機会を得ることができた（後援：埼玉県教育委員会、来場者数1101人、新聞・ラジオ・テレビなどメディア取材多数）。こうした「世界の教科書展」の新たな試みは、文教大学ブランドを広く周知する試金石になると考え、研究所の重要な活動のひとつとして今後も展開していく予定である。



2016 年度「世界の教科書展：ドイツの教科書」および、桶川における「＜世界の教科書＞巡回展」実施報告

ドイツは地方分権の歴史が長く、初等中等教育は州によって管轄されている。これが多文化主義を掲げるドイツの教育の大きな特徴である一方、課題も少なくない。日本と同じ敗戦という苦い記憶をもつドイツの教育を、教科書を通して探り、様々な課題を抱える日本の教育への示唆を得るべく、2016 年度はドイツの教科書を紹介した。

今回収集したドイツの教科書は、計 109 冊になる（初等学校 60 冊、中等学校 49 冊）。内訳は次のとおりである。国語（11 冊）、算数・数学（12 冊）、社会（19 冊）、理科（6 冊）、英語（25 冊）、美術・音楽（10 冊）、その他（26 冊）（教科書の貸出はしていないが、教育研究所で閲覧できる。）来場者は、10 月 28 日から 30 日までの 3 日間で計 285 名にのぼった。学生・卒業生、教職員、一般の方々からも多くの励ましの声が寄せられた。

2016 年度は、毎年恒例のレクチャーの他、インタビューの事前録画を行い、その録画の入った iPad を会場に設置した。また、初の試みである「巡回展」を成功させることができた。学外で行う巡回展は、丸善雄松堂株式会社教育・環境ソリューション事業部との共催事業で、桶川で開催された。来場者は、12 月 10 日から 17 日までの 8 日間で計 1101 名にのぼった。地域との交流を深めるべく、今後も巡回展を続けていきたい。

世界情勢が目まぐるしく変化する一方で、常に変わらないものは「教育に対する情熱」であろう。その教育を映し出す「教科書」は貴重な資料であり、教科書研究には多分野間での地道な共同作業が必要である。世界の教科書を収集・保管する研究機関として、文教大学教育研究所は、今後も様々な活動を行いつつ、その役割を果たしていきたい。

教科書展に関する詳細な解説は、教育研究所の HP にも掲載されている。ぜひご覧いただきたい。
<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

(研究部主任 山川 智子)

公開「定例研究会」発表一覧

第 93 回 11 月 4 日 (土)

- ・地域の教育力向上における実証的研究 (1)
 - 「青少年育成推進協議会」の活動に着目して— 栗原 保
- ・社会教育主事の専門性に関する研究
 - 実践と専門性の言語化に向けて— (仮) 阪本 陽子
- ・道徳教育と学級経営
 - 自己肯定感の向上と道徳の評価を鑑みて— 清水 香保里
- ・義務教育の多様化 矢作 由美子

第 94 回 11 月 5 日 (日)

- ・小学校英語における ICT 活用 浅川 有紗
- ・アクティブラーニングの教育手法に関する考察
 - ビブリオバトルの実践を通して— 綾 牧子
- ・体育好きの児童の育成
 - プレイルボールの実践を通して— 市河 大
- ・外国語活動の授業改善に関する実践的研究
 - 英語4技能のバランスの取れた育成をめざして— 川北 雅冬
- ・ICTを活用した「特別の教科道徳」の研究 清水 祥平

第 95 回 3 月 3 日 (土)

- ・わが国における公共性と教養 青木 大輔
- ・社会科教育における地域博物館の活用・連携の再検討 加藤 紫識

…興味のある方は、どうぞご参加ください…

2017 年度『文教大学の授業』執筆者紹介

- 第60号 人間科学部 村上 純一 先生 (既刊)
- 第61号 教育学部 小嶋 英夫 先生
- 第62号 国際学部 山田 修嗣 先生
- 第63号 健康栄養学部 笠岡 誠一 先生

2017年度 教育研究所スタッフ

所 長	平 正人		
研究部主任	山川 智子	研修部主任	加藤 純一
事 務	紀井 佳奈子		